



名古屋女子大学学術情報センター

図書館サポーター ちぇりっぷ

2018年10月3日



図書館サポーターちぇりっぷは『名女大らしい図書館をはぐくもう!』と活動している学生ボランティアです☆

学生協働フェスタ in 東海 2018

参加レポート

2018年9月11日に中部大学にて『学生協働フェスタ in 東海 2018』が開催され、図書館サポーターちぇりっぷから9人のメンバーが参加しました。昨年に引き続き第2回目の開催となった今回は、事前ミーティングから当日運営まで、学生が参加したことで、より”学生協働”の深まるフェスタとなりました!

ミーティング

6月にサポートミーティング大学の図書館サポーターが集まったの学生ミーティングを中部大学でひらきました。フェスタでやりたいことや、準備に必要なこと、去年の第1回に参加したメンバーからの改善提案など、学生目線での意見交換をしました。



事前リハーサル

フェスタ当日に向けて会場を使ってのリハーサルをしました。ちぇりっぷからは江坂さん(文学部2年)が参加し、機器確認や全体の通し練習をしました。



フェスタ当日

9大学から10団体の参加があり62名の学生サポーターが集結しました！午前の部の司会はちえりっぴの江坂さんが担当しました。大舞台に緊張しながらも大役を立派に務めてくれました。午前の部では、中部大学 commons センター所長の伊藤先生、十文字学園女子大学の図書館サポーターを指導していらっしゃる石川先生のご講演がありました。先生方のご講演を伺い、学生協働について学生として改めて考える機会となりました。



ちえりっぴ活動報告



ちえりっぴの活動報告は、佐藤さん（家政学部4年）、林さん（家政学部3年）、小野さん（文学部2年）、関谷さん（文学部2年）の4名が担当しました。ちえりっぴの1年間の活動内容について紹介しました。100人を超える皆さんの前での発表はとても緊張しました。決められた時間内で発表できるよう、メンバーで発表内容の調整をして内容をわか

りやすくコンパクトにまとまるようにしました。当日も話すスピードに気を付け、聞き取りやすい発表を心がけました。他大学の活動事例は新鮮で、“ヒトハコ図書館”や“学内移動図書館”“ウィキペディアタウンイベント”など、ちえりっぴも取り組んでみたい活動がたくさんあり、刺激を受けました。みなさんの生き生きした報告が魅力的でした！



交流会

10グループにわかれてのグループ交流会では、図書館サポーター活動の悩み相談や、活動報告を聞いての質問など、学生同士で意見交換をしました。活動継続へのモチベーションアップやメンバー間の連絡調整の方法など、どの大学も抱えている悩みは似ていて、お互いに悩みを共有することができました。また、共学の大学と女子大の違いなど、視点を変えて活動をみることで新たな発見もありました。交流会のまとめとして、グループごとのまとめを模造紙に書き出し会場展示することで、グループ間の交流内容共有もできました。



ポスターセッション

ポスターセッションには、ちえりっぴユニフォームのエプロンを着て参加しました♪エプロンはメンバーみんなで色・デザインを話し合い、夏休み中に大学の被服室で作成しました。この手作りのユニフォームには他大学さんからも「手作りはスゴイ！」「かわいい！」など好評いただき、頑張って作った甲斐があったとちえりっぴメンバーも大喜びでした！ちえりっぴのブースに



もたくさんの方が見に来てくださり、私たちの活動に興味をもってくださったのが嬉しかったです。1年生メンバーも先輩にフォローしてもらいながら活動説明に臨みました。

見に来てくれた方への配付用にちえりっぴ作成のブックカバーやスタンプラリーカードを持っていったところ、こちらもとても好評でブックカバーは75枚すべて貰っていただけました。みなさんからは「色使いがとても素敵！」「作り方が参考になりました」「桜モチーフですごく可愛い！」「うちの大学でもマネしてみます」など嬉しい感想をいただきました。



まとめ

学生協働フェスタでは、ちえりっぴに入らなければ会うことのなかった人や感性に触れることができ、とても刺激を受けた1日となりました。他大学の活動発表から学ぶことが多く、今後のちえりっぴの活動の励みや目標に繋がりました。また、学生同士で悩みを共有できたり、感想を述べあったりすることで、学生協働に取り組む学生同士「頑張ろう！」という気持ちも芽生えました。また、ちえりっぴの活動を改めて振り返って改善点もありますが、私たちも工夫した名女大らしい活動ができているんだと、思うこともできました。今後も同じ大学生同士しっかり活動に取り組み、来年もまた成長してお互いに活動報告ができるといいなと思いました。